

ひょう害対策のチェックリスト

露地果樹

【事前対策】

内容	チェック欄	備考
防ひょう網の設置		軽量で開閉作業が早くできる資材が便利である。 透光性に優れ生育を妨げることがない資材を選ぶ。 果樹園では、防鳥防虫も兼ねて1cm網目の網を張り、直撃を防ぐ。
低気圧が発達するときに降ひょうがあるので、風雨の対策も講じる。積乱雲に伴う雷注意報が出されているときにおこる。		排水対策、強風に対する対策も併せて講ずる。

【事後対策】

内容	チェック欄	備考
(共通) 物理的な傷害を受けた部位から各種病原菌が侵入するので、早急に殺菌剤を散布する。		防除暦がある場合には、殺菌剤の前倒し散布を行うとよい。
(共通) 落果が多い場合には、病虫害が蔓延する場合があるので、園内に放置せず埋没等適正に処分する。		
(共通) 傷果の摘果は損傷程度に応じて結果量の調節を行う。		被害後の摘果は枝の徒長、遅伸びが懸念されるので、注意する。 結果数が不足する場合は樹勢調整のために残すことが望ましい。
(共通) 損傷枝の処理は、折れた部分まで切り戻す。		徒長枝が多発する場合は、誘引もしくは芽かきを行い次年度への影響を少なくする。

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。

ひょう害対策のチェックリスト

<p>(共通)</p> <p>結実の確保のため、残った花や果実(損傷程度が少ない果実で残す場合も含む)の維持に努める。</p>		<p>必要な病害虫防除及び果実管理を行う。</p>
---	--	---------------------------

内容	チェック欄	備考
<p>(ナシ)</p> <p>傷果の摘果については、摘果しすぎると樹勢バランスが崩れ、徒長枝の発生などで次年度の花芽着生が悪くなるので、樹勢状態を判断しながら摘果を行う。</p>		<p>傷の深度が浅い場合は生長に伴い回復し、健全果と同等になることが期待できるので、残す場合もある。</p> <p>(果実傷の回復が良い品種)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幸水、豊水 <p>(果実傷の回復が悪い品種)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長十郎、新水

※ 作業中及び見回り時に事故に遭わないよう十分に注意し、安全を確認の上、ほ場や施設の管理を行ってください。